

## 地域福祉の担い手調査 結果【自由記載内容】

問20 地域福祉の推進に関してのお考えを自由にご記入ください。

1	<p>◇ 旭川市としては共生社会の実現、地域まるごと支援員など窓口を増やして対策を講じているようですが、地域にとってそれが機能しているとは思えません。</p> <p>◇ 地域でも、市民委員会、地区社会福祉協議会、地区民児協、まちづくり推進協議会などがあり、それぞれが連携することなく活動しており、それぞれの会のメンバーは、ほとんどダブっており、同じ人間が別々の組織で活動しているのが現実で、地域の活性化は難しいと思います。</p> <p>◇ 地域福祉の推進には、地域の組織の一体化が望ましいと思われませんが、活動している方々もほとんどが65歳以上の高齢者であり、そう簡単にいく問題でもなさそうです。</p>
2	<p>子ども食堂とは人々の心の貧しさを表しており無関心の現れであると思います。養護施設にお菓子を沢山買って持って行った日に「こんな安い菓子など食わんのだ！服も人からもらったものは着ないから持ってくるな 金ならあるのだ」と言われました。お金はある、愛がないのだと悟る私は動けない程ショックでした。「たて」社会を「よこ」にしましょう！！上とか下とか 外見とか活字ばかりの世の中は心の貧しさを生むのです！！私はこれを叫びたかったのです！！読んで下さりありがとうございました。</p>
3	<p>市民の役割（第9条）にあるとおり努力しています。よく聞く言葉で、地方公務員に従事している方々が、町内会活動（役員等含む）に参加していないと嘆く町内会長等の話を聞き愕然としました。職員は全体の奉仕者として率先垂範し、職員一人々が地域福祉の推進に、ボランティアとして市民（町内会等）を牽引してほしいと思います。</p> <p>※「地域福祉」主の担い手は、市職員等協力は、市社協が合同で一体的な計画を策定するという方針で作業を進めて下さい。</p>
4	<p>どんどん高齢者がふえていきます。全ての方をサポートするのはむずかしいことです。自分自身が高齢になったらどうしていくのか、まわりの人にはどうしてほしいのか、各自の意識が重要な時期だと思います。子供のころからそうしたことを学ぶことが大切に思います。人はみんな年をとるわけですから。ヤングケアラーも減らせるきっかけにもなると思います。社会で生きていくために犯罪をおかさないことと老後があるということは本当に大切だと思います。教育から始まると思います。</p>
5	<p>「個人情報」ということばで、多くの事が閉ざされてきている。特にマンションなどの無関心な関係などがあたりまえになってきている社会情勢は「孤立」を生んでいる。挨拶、対話を心がけている。</p>
6	<p>「市は、行政は何もしてくれない」という声を耳にすることがあります。制度や助成など、頑張ってくれているなあと常々思っていることは、多分にあり、可能な限り関係機関につなげたり、情報提供しています。それでも、「もっと」「まだ」「ほかにも」という方もいます。思い及ばない事情をお持ちの方もいらっしゃることは承知しますが、ご自身でもできることは何かあるのでは？と思うことも正直なところですが、共助、公助の取り組みは、提案、実践、研修等取り上げられることが多いように思いますが、自助についての話題にはつながっていない印象があります。まず、自分ができることを考えたり、実践のヒントになるような取り組みやお話を伺う機会の提供を期待します。</p>
7	<p>◇ 「民生委員・児童委員のなり手不足」について、そろそろ真剣に考えなければならない時期に入りました。3年後、6年後を見据えて。</p> <p>◇ 民生委員・児童委員の定年制度の見直し、市民委員会、機能不足・力不足の支援強化、ボランティアとしての役割見直し、（民生委員法第10条の見直しなど…）又、広報誌あさひばしを活用したPR活動。（年1回ぐらいPR活動など…）など…</p> <p>◇ 市民児連とも接点を出し合いながら、抜本的に見直し、改善するような体制、法律条例などの見直しが必要です。それを体制整備をしないと、毎年、3年ごとに同じことを繰り返し、ムダなエネルギーを使うこととなります。</p> <p>◇ 民生児童委員は、法律を変えて、ボランティア活動ではなくて、1つの職業にする方法もあると思います。定年を迎えたヒトの、第3、第4の職業という考えもあります。あまり高くない給料を与えて。</p>
8	<p>◇ マンパワーはもちろん大事なのですが、身体の弱い人高齢者が少しでも外出しやすい道路作り歩道作りをしてほしいと思います。例えば、少し広い歩道とか（でこぼこや、よく見ると車道に向かって傾いている歩道もよくあり危ないと思う。）</p> <p>◇ 曜日を決めて地域ごとにスーパーを回ってくれるコミュニティバスがあると車がないお年寄りも買い物に行けると思う。（実際に当麻町ではやっているの）</p>
9	<p>◇ 色々な支援体制について一般市民に判りやすく積極的な周知が必要だと思います。</p> <p>◇ 困り事はどの機関、町内の民生委員他判りやすく周知しどこに相談して良いのか明確にし市民に安心感を持ってもらう事が大事だと思います</p>
10	<p>◇ 担い手の人材不足（高齢者増加）</p> <p>◇ 地域福祉は現在は個人情報等で簡単に前進するのは難しい世の中である。</p> <p>◇ 中高生・大学生を含めて長期にわたる教育が必要（人材育成）</p> <p>◇ わがままな人の増加</p>
11	<p>◇ 地域に重度の負担・要請など期待すると会長（代表）以外の住民は活動しづらい</p> <p>◇ 町内会・民児委員・社協などの団体以外の新たな地域ボランティアグループを設立すべき。その中に高齢者の指導者（求人的）は不要。若い世代がリーダーとして活動してほしい。市職員、道職員、教員などがリーダーとして手本を示してほしい。</p>

12	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 地域福祉活動には、私も含めて、複数の活動を行っています。</li> <li>◇ 特に民生委員は担い手がなく、市の退職者等のご協力も必要かと思ひます。空白のある委員地域は、各民児協と行政が一体となって後任選に協力してほしいです！</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 町内会の高齢化での町内活動の存続危機、町内会への無関心な人が多数いる</li> <li>◇ 高齢者の通院や買物の不安、買物・通院難民が多い</li> <li>◇ 若い子育てが中心の人達は生活に追われているので、自分達家族の事で精一杯！</li> <li>◇ 旭川市は金銭的余裕がある人が少な過ぎ（貧乏人が多い）市が貧乏過ぎ！</li> </ul>
14	<p>農村地域のゴミステーションまでの距離が遠く、車を運転できなくなったらゴミを出しに行けない。車を手離したらバス停までも遠く本数も少ないため病院へも買物にも行くのにハイヤー代等のお金がかかる。</p>
15 -1	<p>1 住民自治組織活動の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 地域には地域住民で構成する町内会、または町内会相互の連絡調整を行う地区市民委員会があり、地域の連帯感を高め、支え合いながら、地域に共通する課題の解決を行っている。町内会、市民委員会が活動する上では、「役員のみが担い手がいない、続かない、育っていない」いわゆる人手不足、役員の高齢化、地域活動への参加者の固定化、町内会未加入世帯の増加という課題がある。</li> <li>◇ 地域内を活動拠点として、特定の目的のために活動している地域団体やサークル団体ボランティア団体などが増えてきている。町内会や市民委員会とは連携面では各団体ごとの温度差はあるが、活動においては、資金や人材の確保という課題を抱え活動が低下してしまっている。</li> <li>◇ さらに、個人のボランティアはもちろんのこと、ボランティア団体特に最近増えてきているNPO法人が様々な形で活動している。こうした団体は、自立した存在ではあるが、活動する上で情報共有、資金の確保、活動場所などの課題を抱えている。</li> <li>◇ 地域における地域福祉実践主体である民生委員、児童委員、保護司、目的団体において担い手不足、高齢化、ほかの団体との連携不足、情報の発信、情報の共有など抱える課題は枝葉の部分では一緒である。</li> </ul>
15 -2	<p>2 社会的なつながりが弱まった世帯の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 家族の変容と自助力の低下 核家族化、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦のみの世帯の増加、晩婚・未婚化、地域活動への参加者の減少、固定化、社会的孤立世帯の増加、昔は家族で担っていた機能が「外部化」「商品化」されてきている。</li> <li>◇ 地域の変容と共助力の低下 地域の中で互いに支え合い、助け合って生活課題を解決していく共助力が弱まってきている。</li> <li>◇ 都市化、過疎化、生活の個別化及び無縁社会の進展という変化だけでなく、無関心、非干渉、孤立、個人情報保護をたてにといった煩わしいルールや付き合いのない気楽な生活を望んでいる。</li> <li>◇ 都市では過密問題が一オートルックマンション、流入者同士の間関係の省略化地域への帰属意識の希薄化(町内会への未加入)過度なプライバシーの保護意識、が相まって互助意識が育たない。</li> <li>◇ 地方では過疎問題が一家族人員減少も伴って高齢化、限界集落化が進み、互助意識は残っていても支える主体がいなくなっている。</li> </ul>
15 -3	<p>3 地域福祉活動を推進していくための課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 一人暮らし高齢者が多くなってきており、閉じこもり防止や高齢者が集う場の整備など居場所作りが必要である。またマンションやアパート入居者で町内会未加入者が多く、マンション管理組合や地区社協や民生委員などと連携した実態把握を行い、ニーズの把握、課題解決に向けた支援が必要である。</li> <li>◇ 地域活動の担い手が不足し、一部のみに役割が固定化、高齢化しており、地域活動を支える新たな担い手の発掘が必要である。</li> <li>◇ 困りごとを抱えているのに、自らSOSを発信できない個人や世帯、あるいは他者との関わりや支援を拒み、結果的に孤立状態に陥っている。社会的に孤立している要支援者の把握のために地域と行政サイドの支援が必要である。</li> <li>◇ 一人暮らしになっても、要介護になっても、最後まで住み慣れた住宅や地域で心豊かに生きられることができる近所作りが大切である。</li> <li>◇ 高齢者の生活圏は極めて狭い。車の運転もできない、歩けなくなる、体力に問題がある。ご近所は高齢者にとって心豊かに生活できる場であってほしい。</li> <li>◇ 専門職や民生委員、町内会の担い手や世話係、地域コーディネーター、町内会役員だけで把握しきれない生活課題が多い。近隣住民同士による協力は不可欠である。ご近所に中軸を置いた福祉活動の体制作りが重要である。見守り体制の構築＝近隣関係の再構築。「向こう隣三軒両隣りと意識と助け合い、支え合い」「天性の世話焼きさん探し」。</li> <li>◇ 地域住民の地域活動への参加が消極的である。地域内に何か問題が発生しない限り、地域住民の理解や参加が得られず具体的な活動に結びつかない。参加人員の減少、固定化</li> <li>◇ 各圏域の地域住民の相談窓口として地域に根ざした機関として地域包括センターを始め相談機関が数多くあるが、分野ごとに相談窓口が分かれており、住民にわかりずらくどこへ相談すればよいのかわからないとの声が挙げられている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 包括的な総合相談体制の整備と人材の育成</li> <li>イ 地域に根ざした包括的な支援体制の構築</li> </ul> </li> <li>◇ 各圏域ごとボランティアの養成が進んでいるが、養成で終わることなく、養成したボランティアが地域で継続してボランティア活動に従事し、活躍できるよう、地域まるごと支援員と連携するなど、引き続き、具体的な活動につなげることを意識した取り組みを進めていくことが必要である。</li> <li>◇ 高齢者を支える各種活動、取組が展開される一方で、若年層や子育て世代を巻き込んだ取組が少ないことから、多世代にわたる地域住民の交流機会や新たな担い手の確保につながるための取組が必要である。</li> </ul>

15 4-1	<p>4 制度の外側にさまざまな不安や生活困難が      &lt;地域住民懇談会で出された生活課題&gt;      ア 独居高齢者だが、電球交換、ペットボトル・瓶・缶の蓋開けなど、人に頼むことさえも遠慮してしまうような小さな困りごとが一杯      イ 車を運転しなくなると、買い物や通院などの生活の様々な面でたちまち不自由が生じる。      ウ 近所付き合いが薄く、「困った」というSOSを誰にも発信できない。      エ 本当に要介護者リストに載っている災害弱者は救援してくれるのか？ 予行避難訓練をしているようだが、本人の立場からすれば全くそんな気がせず不安。要介護で避難所生活が送れるのかも不安。      オ ふれあいサロンを始めて見たが、男性が参加してくれない。とにかく男性が引きこもりがち。      カ 近所の方が気になるが、これまで関わりなかったのに急に声をかけたり家に行ったりしにくい。      キ 若者が減り、町内の祭りの運営ができない。      ク 雪下ろしや除雪を自分一人ではできないが、その都度業者に頼んでいると経済的な負担が大きい。</p>
15 4-2	<p>&lt;地域住民懇談会で出された地域課題&gt;      [地域のこと]      ア 仕事や家庭のことで忙しく、地域になかなか目が向かない／イ 地域のリーダー不足、特に総まとめ役、後継者不足／ウ どこで災害が起きてもおかしくない地域である／エ 地域内で防災組織作りが必要／オ 人口が減少している／カ 限界集落による地区が今後増える／キ 地域がなくなると不安感がある／ク 挨拶ができていない／ケ 忙しくて地域の人と会う機会も少ない／コ 集まる場があったらいい      [福祉課題への対応]      ア 老老介護が増える／イ 独居高齢者が多い（話をしたい・きいてほしい、夜が寂しい・怖いと言われている）／ウ 一人暮らしは病気になったときのことが不安／エ 孤独死は人ごとではない（対策への挑戦が大事）／オ 介護者は苦労は当事者にしかわからない／カ 車を運転しない高齢者は通院や買い物の時に困る／キ 移送ボランティアをしてあげたいが事故の問題があり踏み切れない／ク 地域での見守りが必要／ケ 若者が地域に残らない／コ 子供が減っている／サ 障害者が働く場所がない／シ ボランティアの高齢化／ス 見守りをしようと思ってもプライバシーのことがあり難しい／セ 民生委員は担当地区が広く大変／ソ ゴミ屋敷は社会的孤立の象徴／タ 引きこもり支援／チ 若年性認知症と家族への支援／ツ 8050問題／テ 子育て支援（貧困）／ト ひとりぼっちをつくらない      [取り組む課題]      ◇ 地域まるごと支援員、地域包括センター等の専門職、高齢者支援に関係する住民やボランティアが集い、地域課題や地域特性などについて懇談会（協議体）等を通じニーズの把握・情報交換・事例の共有を行うとともに、地域とつながることのできない人へのアプローチ等を模索する。      ◇ ボランティア活動や地域福祉活動に関わる担い手が固定化、不足している。各圏域でボランティアの養成が進んでいるが、単に養成で終わることなく、養成したボランティアが地域で継続して活動に従事し、活動支援に取り組んでいける環境づくり。特に若年層を巻き込みながら地域活動の定着を図る。</p>
15 -5	<p>5 少子高齢化・無縁社会化により生きづらさや不安が増大      ◇ 制度が対応していない生活上の細々とした諸問題      ア 財産、家計の管理／イ 障害差別、無理解／ウ 介護疲れ／エ 家屋管理／オ 子育て／カ 昼間独居／キ 外出、移動／ク 閉じこもり      ◇ 福祉制度の外に生活、地域、社会問題がいっぱい      ～無縁社会化により深刻、重度な問題として顕在化、先鋭化～      ア 潜在的貧困／イ アルコール、ギャンブル等依存／ウ 孤立・孤独死／エ ホームレス／オ ストレス・虐待・暴力／カ 多重債務／キ ひきこもり、ニート・不登校、保健室登校／ク 非正規雇用、失業、就労困難／ケ 訪問販売、詐欺等の経済被害／コ 犯罪被害者／サ 潜在的認知症／シ ひとり親世帯児童／ス ごみ屋敷、ネコ屋敷／セ 災害弱者支援、災害への備え など      [取り組む課題]      「福祉があるから安心」と思っている、公的福祉で対応してくれる範囲は、人員的、財政的にも不可能である。個別ニーズは、まずは極力自助努力でまかなう必要があり家族機能の低下や世帯所得の低下など自助機能も弱まりつつある中で、制度の隙間や外側のニーズを埋める自助と共助で固めた環境作りこそ、私たちの生活を安心して委ねられるのではないだろうか。</p>
16	<p>◇ 親子関係がうまくいかず地域にお世話になっている。近隣に迷惑をかけないというのが現実にお世話になっております。遠隔の息子、娘は隣近所の関係をよくしてほしい。      ◇ 地域のボランティア年齢関係なく協力を要請する。シニア大学で「地域に参加して」の講義に貢献したい意欲十分ありの高齢者が多数いた。      ◇ 小さな困りごとの相談が多く対応先を探している。      ◇ ボランティアの人を大事に！光を！ボランティアの心意気を見守ってほしい。      ◇ 行政の窓口で相談を受けるが同行のサービスが確立されていない。      ◇ 家庭の中の親子関係について教育が必要、モノの引き継ぎから心の引き継ぎを      ◇ 地域の実情を知ってほしい。      ◇ 地域で所在不明の案件が多く、入院、長期不在等であり、包括、ケアマネージャー、民生委員の情報共有を必要とする。個人情報への壁があり      ◇ 町内会、市民委員会、地区社協、民生委員、包括支援センターなど横の連携で地域の壁を取り払いスムーズな活動が共有できる。      ◇ 行政への苦情は、苦情社に訪問なり行動で迅速に解決してほしい。</p>

17	<p>◇ 地域福祉の担い手が楽しく参加できる集いを推進する。</p> <p>◇ 高校生や大学生を地域福祉の委員として活動させる。</p>
18	<p>銀行での手続きにおいて、窓口の方の説明を受けても理解できない高齢者を見ることがあり、高齢化の課題を肌で感じる。一方で、窓口の方もとても親切に対応していて自分自身学ぶことが多くあります。</p> <p>今、急速にIT化が進み、自分としてもついて行けない思いがあります。郵便局、信金、スーパーなど地域のお店の方々が、病院と様々な住民の方と接する機会があると思います。個人情報となりますが、本人の希望を聞いてITの補助(手助け)や、交流の場についての予算措置を行政が行うことも大切と考える。</p> <p>近所の馴染みのある場所のほうが、地域包括センターなどよりいきやすいと思っています。</p> <p>健康で生きていくためご近所力をどのようにつくっていくか、学校や施設、行政とつながっていれば情報など集まりやすいかもしれませんが、孤立している人や気づいていても深入りしたくない拒絶をされるなどたくさんあると思います。大事になる前に小さな案件のうちに対応できる仕組み作りが悩みです。</p>
19	<p>◇ アパート、マンションの町内会加入に関してオーナーさんに会費を払っていただきたい。</p> <p>◇ 空き家対策(毎年雪害の問題が発生)</p> <p>◇ 生活保護世帯の実態把握</p>
20	<p>アパートに居住している人の情報が何もなく町内会のイベントにも出てこないのが、困っているかもしれないですが助けてあげることもできない状態です。何かいい案がないかと模索しています</p>
21	<p>いろいろなところで旭川の魅力をアピールし若い人たちを呼び込み、市を活性化させたい。旭川の周辺自治体に出来て旭川に出来ないのは「熱意」の不足(市役所の)じゃないんですか？</p>
22	<p>いろいろな行事に参加してわかる事もあるし、私は高齢者の方の生の話を聞きたい。区域ごとに何十人か集まって座談会などをしてみたらどうでしょうか？</p>
23	<p>お年寄りも年金が足りずに困っているが働ける場所もないのが多く、励みになる楽しくできるお小遣い稼ぎの場を公民館でできるようなもので、例えばクリスマス用リース作り(季節ごとの商品)などを得意な若い世代に声をかけて作ったりネットで売ったりしてみる</p>
24	<p>これまで町内会長も地区市民委員会の活動にも10年以上関わってきましたが、やっと今頃、町内の人とゆったりして話し合いが出来るようになり、高齢者とも会話、おしゃべりがはずむようになったと思う。お互いの信頼関係は、長い年月と思いやりが大事とも思う。また地域活動を活発にして交流を深めたい。</p>
25	<p>だんだんと年齢をかさねると忘れっぽくなり、自分の色々な事と重ねると忘れる事が多くなり長くは続かないと思います。もう少し若い方へのアプローチをしていただけたらと思います。</p>
26	<p>ボランティアセンターの設置など、地域の体制が整っていないなか、施策を進めるのは多少無理があるように感じています。もっと底辺の充実に支援等をお願いしたい。</p> <p>* 行政、市社協の方々は知識があり容易に解釈できるでしょうが、地域の者は理解出来ないことが多数あります。よろしくご支援お願いいたします。</p>
27	<p>ボランティアや善意に頼りすぎない</p>
28	<p>ボランティアを行っていて、多くの規制、禁止事項があり、寄り添った、踏み込んだ支援に限界を感じる。地域まるごと支援員制度は考え方が良いと思うので担当職員の増員と資質向上を計画的に進めてほしい。身寄りのない人、SOSの出せない人をどのように見つけすくい上げることが出来るか、個人情報保護という大きな壁があり、もどかしさを感じるが関係機関、町内、ボランティア等のネットワークを太くする取り組みが必要と思います。</p>
29	<p>まず身近なところから出発する事が大切と思う。大きく広げる事でなく町内の班のご近所さんとの日頃からのコミュニケーションが肝要と思う。その上で自分の事は自分で守る、他人に迷惑をかけないという気概を持つ事が大切になると思います。</p>
30	<p>マンション管理人が個人情報と言う事で閉鎖的で活動がしづらい</p>
31	<p>一人暮らしで除雪が出来ない住人がいて、屋根の雪庇が凍って、滑り落ちて歩道に落ちる。とても硬くて重いので、歩行者の生命に関わる問題です。通学路なので市の点検をお願いします。</p>
32	<p>永く住んでいる地域で最期を迎えたいと思っている人は多いと思う。しかし子供達は地域から離れている等、その思いは他人に迷惑をかけてしまうことも頭にある。</p> <p>現在、担い手として福祉活動に少々関わっているが自分に置きかえ、支援される側と考えると迷惑をかけたくない、はずかしいという思いから、なかなか相談することも難しいと思う。</p> <p>また、福祉の担い手といっても、プロではなく単に地域内で同じ環境の中にいる知人程度といったもので自分の非力を痛切に考じる。</p>
33	<p>永年地域福祉活動に参画してきたが、福祉活動に関わるメンバーが毎年、次々に変わり、継続的な活動を展開出来ない。地区社協の規約を改定し、有償(低額でも可)ボランティア制に変え、メンバーをある程度固定化し、活動に責任を持たせる事が必要と考えます。行政に対しては、財政的な支援をお願いしたい。</p>
34	<p>何がよいかわかりません。目の前に困っている人がいれば助ける努力をする、楽しく暮らせる地域になってほしい。デイサービスだったり、老人ふれあいサロン、子育てサロン、公民館に月に1回でも行ける場所があるのは良いことだと思います。ボランティアで他人のために尽くすのがありますが、若い市職員にやってもらうのもいいと思います。</p>
35	<p>何も否定しないで肯定する。想定外の活動も認める。このアンケートを活用して、新しい活動・取組を始める場合、アンケートの有効性を評価してください。その結果を公表してください。</p>
36	<p>何よりも、住民の意識の高まりが、必要かと思われず。</p>
37	<p>学校で友達が忘れ物をして借してあげることができないと聞きビックリしました。助けてあげたいと思ってあれはよくてこれはダメ、小さいうちからこんな風に教育されては誰か困っている人がいても、助けてあげようという心が育たないのでは？</p>

38	活動を行うメンバーが不足していると感じています。
39	居住している地区の町内会に未加入者、世帯がコロナ以降も増加しており地域の住民同士の関係が希薄している。積極的に町内会加入、加入広報等、強制ではないが市町村の支援が重要と考える。
40	計画は良いのだが、実行は難しいですね
41	見守り活動一つとっても多様な人がいて、それぞれ事情が違う。高齢者は最近多いので比較的充実しつつあるが、障害者やヤングケアラー、貧困な父子母子家庭に目が届いているのか、私の立場ではわかりません。アンケートの答は高齢者に向けた回答となっています。ずるい人や人を利用しようとする人ほど声の大きい気がします。
42	個々人の生活で一杯なのか、地域で助け合う精神が不足しており、手を差し延べることで面倒に巻き込まれることの心配が先にたちこの足を踏んでいるかも。自ら積極的に福祉活動に参加したくなるような施策を考えるのも必要である。
43	個人情報連携先で途絶えるのが今の現状。手助けするにも出来ないことも多くあるのではないかと？
44	個人情報の保護などのため、以前より民生委員が、孤立している人や高齢者、障害のある人、子どもの成長に対する支援など深く関わろうとしていない（できない）ように思う。もっと地域福祉の推進の中核を担ってほしい。なぜなら、民生委員が一番学習しているし、適任だと思うからです。私たち、一般人には無理がある。
45	個人情報の問題などにより、高齢者の一人暮らしなど増えているなど、対応が難しい。
46	個人情報保護のため、他人様から色々「聞けない、話せない」世の中になりました。日本文化として「向こう三軒両隣」の言葉があり、親しく交際できれば困った時誰かが相談に乗ってくれ専門機関を紹介してもらい、少しでも安定した生活が出来ると思います。
47	個人情報保護等による情報の規制で地域の活動が難しくなっているのではないのでしょうか？
48	個人情報保護法との関連でどこまで踏み込んで良いのか判断が難しい。
49	行政で取り組んでいること、取り組むべきこと、ボランティアをお願いしたいこと等、もっとわかりやすく説明してほしい。ボランティア活動に安心して参加できる、参加しやすい体制、どうすれば良いか？町内会加入、未加入、人に迷惑をかけたくない、関わりたくない、知られたくない、等々、さまざまな人がいます。どうすれば良いか？
50	行政と町内会、民生委員が協同して活動を進めていくことが必要と感じている。
51	高齢者・独居者に「何に困っているか」アンケートを実施してほしい。
52	此からは、お金を払ってボランティアをする時代になっていくと思う。
53	今、町内会を必要としない人が多くなっている傾向にあります。その中で起こる情報の希薄化、人の交流が薄れている。町内会が消滅している問題も。
54	今後の高齢者の増加が懸念されますが、高齢者同士がもっと気軽に心の交流がはかれる福祉施設の充実を希望します。
55	町内会組織の建て直しが急務です。町内会の役員の育成が大切です。役員のなり手が無い「常に出る言葉」役員の自覚、使命について本気で取り組む行政の指導力が求められます。役員の使命、自覚のない所に何の発展もありません。市職員がボランティア活動に率先すべきではないのでしょうか。
56	今年から入ったばかりで右も左もよくわかりませんが一つ一つゆっくり勉強していきたいと思います。
57	困っている人を見たら、声をかけることかな。高齢者の多い地域にとっては、どうやって福祉の推進をしていけば良いのか、思いつきません。
58	昨年5月に先任の民生委員児童委員さんに一本釣りの形で依頼され引き受けました。自身の心身の状況から辞退を考えたのですが応援するからと慰留され委嘱を受けました。 業務の内容は個人情報に関わるが多いので、詳細の説明はできないんだと言われ委嘱後に起きた出来事に対応しながら学んでいるところです。1期3年が終わらないと把握できないかもしれないと思っています。 年間の行事予定表を11月までかけて作成しそれをもとに業務を理解していくつもりです。 現在は考え方の多様化が認められる途上であり、うっかりすると相手の尊厳を犯すようなこともあるのが福祉だと思います。少しずつ前に進みたいと考えています。
59	昨年より、民生委員をさせていただいていますが、一人暮らしの方に、身近に寄り添う事の大切さ、日常のささいな事でも話す事で、前向きになれたり、少しでも不安を取り除いてあげられたりと、この役目の大切さを実感している所です。両親は、他界してますが、自分の母と話しているような、そんな時間も良いなあと思っています。
60	仕事をしている方ももちろん、してない方もボランティア活動してくれる気持ちがある素晴らしい方達です。そういう方に無理しないでねと言える仲間になるようにして欲しいです。今は民生の集まりやボランティア活動の為に無理するものだ、優先するものだと言及されることが辛いです。
61	市民の役割も今後ますます重要であるが、それ以上に、特に条例の第4条「市の責務」第2、第3項を常に念頭において業務に当たっていただきたい。
62	市民委員会の活性化により、地域福祉への意識をさらに高めることが必要。
63	市職員の態度が横柄で人を無視した態度をとられた。これでは相談も何もできず全然だめだ！！
64	私の住む地域には集会場がなく、会議検討をしたり、事業を行うことが出来る場所があると良いと思っています。福祉の推進には、限られた方のみが参加するのではなく、広報を通して多くの方に知っていただき、学生や退職をされた方も巻き込んでたくさんの方が関わって行ける社会になると良いと思っています。

65	私の地域は高齢世帯が多く、福祉活動も高齢者が高齢者を支援している状況で、この先、活動等できるの か心配です。福祉専門職、ボランティア団体等に支援依頼するようになっていくのでしょうか。公的な支援 制度の充実を進めてほしいです。
66	私は夫の介護をしながら、住民センターで筋肉ちよきんクラブやふまねっとや笑談会等に参加していま す。この中でふまねっとの休憩時間にコーヒー等を飲みながら皆さんと談話する時間が一番楽しく思ってい ます。行事は高齢者にとって楽しいものであってほしいと思います（笑いのある）。
67	私は永年ボランティア等で福祉活動を行って来ておりますが、いつも大きな壁にぶつかっております。そ れは時間をかけてお互い信頼関係が出来て始めて悩み事等心の内を話してくれると思ひ、逢えば挨拶はもち ろんの事、何かあれば遠慮なく言って下さいねの言葉で話しかけますし、サロンや老人クラブ等にも、さ そってみたりしておりますが全く否定されます。世間で言うところの人づき合いが苦手、人の中に入れない 等の性格の方も何人か見てきましたが、この方達をどう楽しい輪の中にひっぱり込んだらいいのか。夫婦2 人の世界で暮らしていた時はそれはそれなりに幸せだったものが、どちらかが先に亡くなれば1人になった 時が大変です。 私の顔を見ると泣いて、亡くなった配偶者の言葉を思い出すと涙をふきふき私に話してくれますが、その 他の人には背をむけています。この様な人達は世間に沢山おられますので、行政としてまず、私みたいな人 の講習会を開催して頂ければ有難いです。民生・児童委員の方達もこのケースで悩んでおられます。よろし くお願い致します。
68	私は今年度から始めて参加しているので、何をするのか、どう動いていいのかわからず参加していま すが、少しずつわかる場所もあり、参加したいと思ひます。
69	私は老人クラブ、市民委員会、社協等々役員をしておりますが社会的活動の充実するためにも補助金アッ プを希望します(手続きの簡略化を希望します)。現在、こども食堂開設を考えています。 尚、昨年4/1~11/末、今年は3/11~現在まで約AM5:00~6:45毎日ゴミ拾いを(たばこの 吸い殻中心に)しております。令和4年は47,524個(うち吸い殻23,793...50%)、令和5年3 /11~6/21まで15,477個(うちタバコ7,856=50%)。私の住所は旭川西地区ですが、 3・6街がきたない!!この活動を市民委員等々で拡大させ、清潔で綺麗な仕組み作りを!!
70	時代の流れにより相互の個人情報の問題が先にあり地域福祉に情報なしに協力取りづらいの事がある
71	自治活動、民生委員等、なり手不足が課題となっている。活動内容の理解が必要である。
72	社会福祉協議会とまちづくり推進協議会の在り方が重複していないか?見直しが必要ではないかと思ひ。
73	社協と民生委員が同じ仕事をすることはとても難しいと思ひます。社協は社協独自で、活動して欲しい
74	若い人が少ない農村です。住民がみな老人ばかりになります。今後の地域がどうなるのか不安です。
75	若い人など、福祉について知らない人が多いので学校教育などでもっと広げるべきである
76	手をさしのべる支援活動も重要だと思ひますが受ける側への意識や理解などの啓蒙活動も必要なのでは。
77	将来、地域の皆様にお世話になりますし、お互い様の精神で、気軽に取り組んでいきたいと思ひます。
78	条例の内容を読んで立派な目的だと思ひました。死ぬまであらゆる方法で経済活動(生産性のある活動か な?)をしなくてはいけないのかとも思ひました。高齢になり様々な支援を受けながら、自分の尊厳を守り 生きていくために、どれほどの地域福祉を受ければいいのか?また、受けないと尊厳は守られない のでしょうか?「地域福祉の推進」の目的を、もっと具体的にシンプルだったらいいいのにと思ひました。例 えば、「孤独死」をさせないための地域支援を行うとか。
79	先にも書きましたが「個人情報保護法」が個人と社会を分断したように思ひ。家族制度が崩壊させられた 戦後日本の結果が現状の社会・家族の姿であると思ひ。
80	前述の通り、地域福祉だけにスポットを当てても意味がなく、住民・地域・医療・福祉が一体となって支 え合うことが、なによりも重要である。私は20年後もこの地域で住み続けられる環境かと問われると、住み 続けられないと答える。 理由は、身近に日用品・日配品を購入できるスーパーがない事、地域に医療機関が存在しない事、地域包 括支援センターが遠方で気軽に相談できる環境にない事が挙げられる。少子化問題も影響してインフォー マルサービスは期待できない。 その結果、自分でなんとかできる能力があるにもかかわらず、地域に必要な資源が皆無であるため外出の きっかけを失い、外部との交流が遮断され、認知機能の低下、身体機能の低下を招いている。 この課題は、地域の共助で解決できる簡単な問題ではない。地域福祉を検討する前に、住民が住み慣れた 地域で一日でも長く生活を送ることができるよう、必要な資源を大胆に投入する事を考えなければ、この 地域は荒廃していき前に進むことはできないと判断する。
81	担い手不足、若い人の福祉への参加
82	地域での活動は町内会が基本かな?と思ひれます。民生委員などの人材確保も地域活動で探している。町 内会の役員等は高齢者が多く若い人達が入りにくいのか?現役世代が活動し易いのか工夫が必要だと感じて いる。若い人達が楽しいと思える活動が無ければ、町内会がジリ貧となり各種地域活動が心配である。
83	地域で健康増進の活動したり、地域住民と見守り活動や様々な行事を計画してありますが、金銭的な補助があ ると嬉しいですね
84	地域で福祉に関わる活動する組織は社会福祉協議会と市民委員会がある。両組織の活動目的や、主な構成 員が重複しており、福祉活動の効率化、効果向上のために両組織の構成を見直し、一体化することが望まし いと思ひます。

85	地域で福祉の支援を受けたいという人は、それなりに多くいるのではないかと考えますが、その人達の声を受けとる体制が不十分でもあり、又、個人情報の問題などが絡み、その声が届きにくいように感じている。そのような問題を、いかに聞き取れるような体制を作れるかではないかと考えている。
86	地域に於いて住民の地域福祉に対する関心は高くない。従来から民生委員、包括支援、地域まちづくり、地区社会福祉協議会等、多くの福祉関連団体があるが、重複する部分が多い。また活動が一部の人にかたよっているため負担が高い。活動の内容の整理と分担をはっきりする必要がある。また、支援を受ける側も相談する事がはずかしいと感じてる面がある人もいれば、過大な要求をする人もいる。活動する側から言えば個人情報の面から活動に制約があり、困難な面が多い。
87	地域の人口が減少し町内会自体も崩壊している状況で、地域福祉の推進まで考えが及ばない。日々、他人に迷惑をかけないように、自分の生活を続ける事を目標に生活している。
88	地域活動に貢献したいとは思っているが、最近担い手不足と聞いていて、大変なお仕事なんだと思われる。確かに高齢者宅を訪問したり、心配な方がいれば再び訪問したりします。民生委員のお仕事がわかってももらえること、地域への貢献だとも思っています。お役所と社会福祉協議会と一体化実現一介護保険の認定の上でも一体化すると動きやすいと思います。元気な高齢者をどんだけ増やすかが課題ですね。 民生委員は、声かけ、現状把握地域のことがわかっていて福祉の方につながる役割、情報交換できたり、私たち民生委員が孤立しないように長く活動ができるようにしていけたら推進につながると思います。地域の方々に子供達を育てて頂いて私は少しでもその地域にできる事があればと思っています。 これからは高齢者、ひき込みりの若者、ヤングケアラーなど情報収集、伝達、対応、時間がかかるのではなく迅速にが必要とされると思います。仕事としてではなく、人として動ける人材を育てて頂きたいと思えます。文章上手ではないですが少しでもお役に立てればと思っております。
89	地域共生社会の実現に向けての取り組みは理解できますが、地域における福祉活動とは何か改まった事業を起こすだけではないはずです。 住み慣れた地域の中で隣近所同志が「こんにちは。お変わりないですか」「困っていることない」など温かい言葉をかけたり、冬の大雪の時に除雪を手伝うなど手を差し伸べ合うつながりだと思います。昔から「遠くの親戚より近くの他人」と言われるように、いざという時に頼りになるのは、何と云っても近くに住んでいる住民です。かつては、そんな住民の思いやりと優しさのあるつながりがあり頼りになる町内会の存在がありました。住民として地域の福祉活動に関わっていると、住民の自主的な集団である町内会そして独創的な組織の市民委員の存在と役割が大変気になっています。
90	地域福祉についてよく理解し、あるいは理解するよう努力する市民を対象としたことや、必ずしも新たな仕組みは必要とは思いませんが、ぜひ、「理解しない」「理解する努力」に興味を持たない市民へ認知するような仕組みやアイデア、提案などに関わるチャンスを作ることも必要かと思えます。
91	地域福祉に関して、個人個人が何をもちて幸を感じるか。本当に多様です。研修や担い手を育てる事も大切な事と考えますが、小さな単位である町内会活動が停滞しています。会員数減少（特にアパート、マンション、若い人）等、入会拒否により、高齢世帯が多く役員も高齢化し行事等への参加も減少しています。地域福祉は町内会の充実からと思っています。人と人とのコミュニケーションは近隣の人同士が顔を知る事だと思っています。 なんとか、地域福祉の推進の為に町内会入会の義務化（条例でも）はできないのでしょうか？街灯、ゴミの問題、非会員の方が無責任になりやすくお互いに支えづらい状況に進むのではと思っています。どうか宜しくお願い致します。
92	地域福祉に参加して手助けしたいと思っておりますが、なかなか参加するまでには至っていない。身近に対象者がいれば少しずつ参加できるかもしれないので資料などをよく読んで考慮したい。
93	地域福祉の基本は地域を知ることが必須です。コミュニティー(町内会)でのお手伝いや役員を嫌がらず引き受けることが大事。一度どんな役員でも引き受け役員のつらさを知ること。この様な経験の積み重ねが必要と思えます。 郊外で宅地造成が進んで宅地の販売、新築物件の販売時には市として「ここに住み着いたときには町内会に入りましょう！！」の喚起を行っていただきたく思えます。
94	地域福祉の充実は大変重要でありながら、課題は幅広く、成果が見えにくく、それに携わる行政、団体、関係者にとっては一番難しく悩みのつきないところかと思っています。 市としては、共通的な、目玉的な、改善点(策)をしばり、まず簡便に改善成果がアピール出来るものを突破口としながら少しずつ少しずつポジティブに、そして、地域福祉推進の楽しさをこれからも市広報等で周知していく側面的支援の強化を続けていくことが望まれます。
95	地域福祉の推進は安心見守り活動の充実を図るのが手短な所と思う。担い手さんが対象者さんと親しくなれば情報交換ができ、困り事の相談に乗り各機関へ繋がり、助けになれる。対象者さんが息子さんと同居だと口数少なく話にならないとこぼされた事がありました。子どもさんと同居だから良しとはならない。そんな時担い手さんとのつながりが出来れば、、、 当町内会では、単身になった方にとりあえず安心見守り活動をお知らせしています。昨年より市の敬老会補助金が無くなり、77歳以上の世帯が分からなくなり入会活動の停止が気掛かりです。
96	地域福祉委員が始まりましたが詳細なボランティアの内容が解らず説明に窮している。福祉委員は何をどこで、どのように活動するのかを教えて貰いたい。
97	地域福祉活動そのものについての知識がない、知らなかったというのが本音である。

98	<p>町内会、市民委員会、民児協、社協とかかわってきましたが、どれも過去の活動から今にあった活動に変革する動きがない。人員の高齢・固定化が進んでおり今までの活動を継続するだけで精一杯の状況。</p> <p>行政(旭川市)もそれに頼ってるだけで変革して、新しい時代の地域福祉を考えようとしているように見えない。敬老会助成の改悪等、予算を削る事しか考えてない。地域福祉が崩壊して一番困るのは行政(旭川市)でしょう。現状のなにもかもが行政でやる事になったら、予算がいくらあっても足りなくなります。</p> <p>住民に一番近い町内会が組織維持や、活動の活発化について大きく悩んでいます。町内会組織無くして地域福祉活動は成り立たないでしょう。行政は現状把握と適切な施策を講じて、町内会活動が以前のように活発化できるようにしていくことが、ひいては地域福祉の推進につながる事だと考えます。</p>
99	<p>町内会に加入している人がだんだん減っています。永い間住んでいる人も隣近所と仲がいいとは言えない人もたくさんいます。若い人からも積極的に町内会に加わって家族で楽しめるような町内会であってほしい。民生委員だけの見守りにも限度があり隣近所で見守る態勢が出来る事が先決であるように思います。</p>
100	<p>町内会に入っている人の事は町内会長や民生委員が、よくわかっているが、その他の人の事はわからないままです。何かこまった事があつたら、近くの友人などに相談しているようですが町内、民生委員とはならないようです。</p>
101	<p>町内会の活動に参画したばかりで、まだまだ十分な理解をされていない。これから勉強していきたい。</p>
102	<p>町内会の希薄化が進むなか、「日常生活に喜びを感じる」また「ここの町内会に住んでいて良かった」と言われる、思われる町内会作りを目指している。また、一番大切なお隣同士の接し方も薄れてきている。ただ暗いことばかりでなく、しっかりとお付き合いをして、特に除雪時には進んで支えている。このような支え合いは特に大事なことで役員会等を利用し紹介をしている。積極的な町内会事業は最重要であり、役員の協力なしでは前に進めない。</p> <p>高齢化社会になって、対象者自身が何もかも支えてもらえるという甘い行動(?)も見受けられる。支え合いが過剰になってはならない。自らの力で生き抜くとゆう気持ちが必要である。日頃からの町内会事業に参加し、真にお隣同士の関係を築くことが大切である。それが本来の町内会の支えである。</p> <p>また、町内会(現場)の実情を把握せず、支援協力を求めがちであると思うが、人口減や市民委員会からの脱会、役員の成り手不足等を考慮し施策を講じることが重要である。50%強の町内会会員数維持で今は何とか事業を乗り越えている。</p>
103	<p>超過疎の農村地帯に住み、農業を営んでいます。ふれあいサロンに長く関わっています。それぞれの自宅が離れていて集まるのは大変なことですが、参加者が楽しいと言ってくれるのが救いです。</p> <p>新しい方を誘っても、集まるのは苦手と断る方もいて残念ですが、それも個性だと思います。又、交通手段が車に限られていて、車を運転できなくなると、町へ出てしまう方が増えています。自分自身のことも含め、どうしたら住み慣れた地域で住み続けられるのか、考えています。</p>
104	<p>長い間ふれあいサロンのボランティアをしております。コロナ禍でしばらく中断しておりましたが、再開しました。ふれあいの参加者、ボランティアの人数がかなり減少しました。原因に関してまだ確認する時間がありませんでしたが、参加者減少・・・家族の元に行く、施設に入所、死亡などボランティアの減少・・・確認していませんが</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボランティアの意義を感じられなくなった。</li> <li>2. ボランティアが楽しくなくなった。</li> <li>3. 物価上昇の折少額とはいえお弁当代を出してまでボランティアをしたくなくなった。</li> </ol> <p>123などが原因ではと思っています。今の時代、人の善意だけでは地域福祉は困難かと思っています。</p>
105	<p>特に若い世代が地域福祉やボランティア活動等に関心がうすい、あるいは余裕がないと思う。行政の経済的支援がより充実することを願います。</p>
106	<p>日頃該当されている方々のご苦労は大変なことであり、又、感謝申し上げます。地域まるごと支援員があることに驚き。市民の福祉の考えの向上に尽力されていると強く感じています。</p> <p>しかし、人間は勝手な面があり、自分が本当に困らないと必要性を感じないもので、元気な時は他人ごとになります。福祉や健康、本当に常々考えている人は、受け止めが容易であると思います。半年、民生委員をやってみて、人の信頼関係も急には備わらないですし、地味な言葉がけや、接触の中から、社会の福祉活動を知り、自分が参加してみたい気持ちになることに気づきました。</p>
107	<p>日常のコミュニケーションがなければ、中々相談というところまではいかないと思います。民生委員児童委員として、町内を見渡し、孤独にならないように配慮しようと思っています。</p> <p>具体的には、サロン活動の充実(高齢者向け)、そして、子育てサロンの充実(周知とお誘い)、見守りが必要な世帯では、公的な機関との連携。介護認定など必要に応じて促す。そして、デイサービスなどのサービスを積極的に受けていただいて、外側との関係性の構築を促していきたいと考えています。少しでも、そのお役に立てれば幸いです。関係各位の皆様、いつも大変ありがとうございます。</p>
108	<p>年月を重ねるにつれ、プライバシー重視され地域住民の交流が減ったと思う。その為、必要とされる方々の援助や相談事が見えずらく社会全体が気薄くなっているように思います。このアンケートから少しでも地域福祉見守りにつながればと考えます。</p>
109	<p>福祉という枠が広すぎてとにかく隣近所の状況を見守ることから始めているといった現状です。もう少し、中学生、高校生、大学生と福祉をもっとつなげていくケースを行政は考えてほしいと思います。</p>
110	<p>福祉とは地域の優しさと聞いたことが有ます。地域住民で出来る福祉活動と、専門職の知識が必要な福祉活動とがあると思います。ふたつの活動がスムーズに連携が取り易い状態にあることが大事だと思います。又、我々一般の人が関係機関に通報した場合も、どんな些細な事でも真摯に受け取め、緊張感をもって当って欲しいと、切に思います。</p>



111	福祉に関しては専門職の存在は重要。日常生活の中で、いつも監視されていると意識を持つようになると全くの的はずれとなる。一層の孤立感を生むと考える。程良い近所付き合いが大切であると思うので気を付けて欲しいと考える。ボランティアに頼りすぎずに専門職の拡大により安心した相談窓口となってほしい。前進の為の第一歩を大切に考えてほしいです。
112	返信遅くなりました。アルバイトの仕事を優先しております。地域福祉については情報等耳に入り次第動いています。自分の地域では今の所感じておりません。
113	訪問の仕方がわかりにくく、難しかったです。アンケートは端的に短い文で質問して下さい（言葉の羅列で読みにくい）。自主的に地域の気になる世帯についての見守り活動として、当該住居のカーテンや電気を確認しています。身近な人が頼りになると思います。今後も見守りを続けます。
114	民生委員など民間の人たちの構成だけでは、なかなか難しい状況になってきていると思います。実際はなかなかそうはいかないだろうと思いつつ、元市役所職員だった方への、市としてのアプローチをしていただけたらなと思います。 こんな言い方も嫌ですが、市役所の勤務時間を終えて、地域の人たちとの会議へ出てくる時には、それは残業扱いなんだろうなと思います。我々は手弁当で参加しているのに…。現役を離れた時にもう少し地域への貢献、平たく言えば恩返的なことを考えてくれるといいのかなと思います。 中には現役の時から何十年も関わってくれてる人もおりますので、一概には言えませんがいつもそう感じています。現役の時から募集をかけておいてもいいんじゃないかと思います。そしてやはりそれは有償であっていいと思います。
115	民生委員、町内会、市民委員会などみんな各々の仕事ではなく、掛け持ちな人もたくさんいるので、協力しながら地域を支えて欲しい。個人情報だからという名目で、なんでも隠すのはやめて欲しい。
116	民生委員として1年半経ちますが、次の2点について感じております。 1、毎月定例会を行っておりますが、マンネリ化しており民生委員同士のコミュニケーションを図るため抱えている課題について意見を述べ解決策を見いだすワークショップ的な定例会の開催を希望します（コロナも少し落ち着いてきたようなので） 2、民生委員活動のIT化について2月の道新に旭川市が、2,200万円の予算を組んだとの記事が掲載されていますが、その後具体的にどのような活動をしているのか、全然見えてこないもので定例会などで報告等（ペーパーの配付でもかまいませんし）をしていただければ、と思っております。 以上、よろしくお願ひいたします。
117	民生児童委員のなり手不足問題について、市役所又は教職員経験者等がもう少し積極的に参加していただく様な展開を、それぞれ内部で取り組んでいただきたい。 又、民間企業への地域福祉に向けたアナウンスも市として取り組んでいただける様希望します。現役社員、退職社員の委員活動への推進を願う。
118-1	◇ 町内会、地区市民委員会・社協・民児協いずれも昭和の時代に作られた仕組みで、生活形態、住民意識の変化に対応していないと思います。町内会の現状を理解・協力して役員になっているごく一部の人に負担が集中している（町内会長が地区社協役員、地区民児委員を兼務している例が増えている）仕組みは直す必要があると考えます。 ◇ 町内会長として、地区の福祉を担う地区社協、民児協の活動は必要と思いますが、町内会の役員候補を探すのもままならない状況で、社協、民児協の役員ができる人材を選出するのは難しいと感じています。 ◇ 民児委員の選出について、「民生委員・児童委員委嘱までの流れ」に「民児協会長や町内会会長等が民生委員として適格である候補者を選び出し・・・」となっていますが、町内会には職歴、経歴等の情報はなく、町内会長が適格者を探すのは難しい状況です。昔の町内会長は指導力、政治力のある人がなっていたのですが、現状はやる人が居らずやむを得ず引き受けている人が多いように思います。 ◇ 地域福祉は地区市委・社協・民児協のボランティアによって支えられていますが、全て無償の活動です。活動している委員、役員はそれなりに労力をかけているのですから、報酬又はボランティアポイントなどのインセンティブを付与する仕組みを考えてもよいのではないのでしょうか。 ◇ 民児協委員の要件に「活動に必要な時間(概ね週14時間以上)を割くことができること」とあります。拘束とは書かれていませんが、それだけの負担、労力がかかる訳ですから、それに報いる何らかの報酬があっても良いのではと考えます。週14時間活動、報酬なしと書かれているのを見て手を挙げる人はいないのではないのでしょうか。ボランティア精神にかけた考えかもしれませんが、行政側も地域の状況は把握されているようですが、ボランティアに頼りすぎと思います。
118-2	◇（その他）今回のアンケートは紙面郵送、スマホでバーコード読み取り回答返信となっていますが、PCでの回答送信ができた方が回答者も、アンケート集約側も効率的ではないでしょうか。手書きの回答はアンケート結果作成時手入力が必要ですが、PC経由のデータで回答が集められれば、少なくとも手打ちの手間が省けます。 以上意見を述べさせていただきましたが、旭川市地域福祉計画(第4期)、市社協地域福祉活動計画(第6期)、まちづくり基本条例等詳細に読んでいないので検討違いがあるかもしれません。よろしくお願ひいたします。
119	隣近所がほんの少し気づかい合い、自分達に出来ることは、お互いに支え合い、無理をせず、自分達では解決出来ないことは、行政等専門機関に願ひする。
120	隣近所で助け合い、安心して年を取ったり、子育てができる環境にしていきたい
121	隣近所の声かけ、注視等で困っていること、悩んでいることを早期に見つけ出し、公的機関に連絡できること。これが一番なのですが、ご近所の関係が希薄だと難しい。